



大混戦

写真上から、3位の神村種臣君、4位の岩崎征夫君、5位タイの稻田一男君、秋田実君、小川透君。昨年の関東ミッドシニアで優勝した小川君は12月の誕生日で70歳。「この10日前にスコア69で、エージュートを達成しました」

プレー

呉山淳一君(上)と永井明君のプレーは、気迫で圧倒した呉山君に軍配が上がった。「阪田哲男さん(所属の袖ヶ浦CCチームメイト)に、パットを教えてもらったのが役立ちました。涙が出るほどうれしいですよ」(呉山君)

通常なら決勝競技の第2ラウンドは、アウトスタートの最終2組ほどを……。なんと最終組の8組前から、32選手が6打差にひしめく。「日本グランドシニアゴルフ選手権の出場有資格選手は36名、その全員をフォローしなくては!」

混戦を予想したのには理由がある。決勝競技の会場となつた日高カントリークラブの難度が、極めて高かつたのだ。

「快晴に恵まれて絶好の3打差で5位タ

難コースでの大混戦を制するのは誰か?

「稀に見る大混戦になりそうだ」と、関東グランドシニアゴルフ選手権の第1ラウンドを終了した時点で、誰もがそう予想した。「現時点のトップの75ストロークから、6打差の81ストロークでも優勝の可能性がある」と。

第1ラウンドのグリーンは、速さ11.5フィートでほぼ限界に近いでしょう。今日は10・5フィートの設定ですが、引き続いでの好天で乾燥すれば、優勝スコアは2桁オーバーも考えられます」(酒巻KGA競技委員長)

コースコンディションです。昨日の

第1ラウンドは、速さ11.5フィートでほぼ限界に近いでしょう。今日は10・5フィートの設定ですが、引き続いでの好天で乾燥すれば、優勝スコアは2桁オーバーも考えられます」(酒巻KGA競技委員長)

スタート直後から、予想どおりの大

激戦。「2番での下りパットが、グリーン外に」などの声が聞かれた

が、アウトを終了しても上位選手は崩れない。

呉山淳一君が念願の初優勝! 「涙が出るほどうれしいです」

ハードなコース設定の日高CCで稀に見る大激戦を展開

